


日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 17 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. **解答用紙はすべて回収する。**持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の A・B・C の各文を読んで、それぞれの設問に答えなさい。答えは、解答欄に記入しなさい。

A

781(天応元)年、光仁天皇と渡来系氏族出身の高野新笠との間に生まれた桓武天皇が即位した。桓武天皇は、仏教政治の弊害を断ち、天皇の権力を強化するために、784(延暦3)年に平城京から山背国の長岡京に遷都した。しかし、翌年、造宮の中心人物であった藤原種継の暗殺事件に関係して、皇太子の早良親王(桓武天皇の弟)が捕らえられて死亡すると、桓武天皇は、その怨霊に苦しみ、和氣清麻呂の進言を入れて、794(延暦13)年に現在の京都の地に再遷都を行った。^(a)これに伴い、山背国は山城国と改められ、新都は平安京と名づけられた。以後、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年間を平安時代という。

桓武天皇は、平安京遷都で造営を続ける一方で、東北の蝦夷の征討にも力を注いだが、この二大事業のために国家財政は窮乏し、^(b)労役に対する農民の不満を増大させた。こうした事態に対処するため、桓武天皇は、当時兵士の質が低下していたことを受けて、792(延暦11)年には東北・九州といった辺境以外の軍団と兵士を廃止し、代わりに弓馬に巧みな郡司の子弟を健児とする新しい軍事制度を採用した。また、国司交替の事務引継ぎを厳しく監督する を新たに設けた。さらに、雑徭の期間を年間60日から30日に半減し、班田収授の期間を12年に改めるなど、農民の負担軽減や経営の安定に努めた。しかし、これらの改革は、十分な成果を上げるところまではいかず、805(延暦24)年、桓武天皇は、徳政論争と呼ばれる議論を裁定してついに二大事業の停止を^(c)決断した。

問(1) 下線部(a)に関連して、称徳天皇のとき、宇佐八幡宮の神託として、

を天皇にしようとする動きがあったが、和氣清麻呂は、それが偽託であることを復奏し、 の即位を阻止して配流された(宇佐八幡宮神託事件)。空欄(ア)に該当する人名を記しなさい。

問(2) 下線部(b)に関連して、『日本紀略』には、「(延暦十六年十一月五日)従四位下坂上宿禰田村麿を征夷大將軍となす。(延暦二十一年一月九日)従三位坂上大宿禰田村麿をして、陸奥国 を造らしむ。」と書かれており、鎮守府を に移している。空欄(イ)に該当する語句を記しなさい。

問(3) 空欄(ウ)に該当する語句を記しなさい。

問(4) 下線部(c)に関連して、『日本後紀』には、「(延暦二十四年十二月七日)勅有りて、参議右衛士督従四位下 と参議左大弁正四位下 とをして、天下の徳政を相論ぜしむ。時に 議して云はく、『方今、天下の苦しむ所は軍事と造作と也。此の兩事を停めば、百姓安んぜん』 異議を確執し、肯て聴かず。帝 の議を善しとして、即ち停廢に従ふ。有識これを聞き、感嘆せざるなし。」と書かれている。空欄(エ)に該当する人物の氏名を記しなさい。

B

日本の文化は、大陸文化の影響を強く受けてきたが、遣唐使の廃止や唐の滅亡によって大陸文化の影響がしだいに薄れ、10世紀以降には、従来の大陸文化の消化のうえに立って、貴族社会を中心に、日本の社会・風土に適合した優美で洗練された文化が生まれてきた。この文化は、国風化という点に特色があるため、国風文化と称されている。

国風文化の形成に大きな役割を果たしたのは、かな文字の発達であった。9世紀には、万葉がなの草書体を簡略化した や漢字の一部をとった が生み出され、11世紀初めには、ほぼ一定して広く使用されるようになった。その結果、日本人特有の感覚や感情を生き生きと表現することが可能になった。9世紀後半には、漢詩文と並んで和歌がさかんとなり、六歌仙と^(d)呼ばれる歌人が輩出し、905(延喜5)年、紀貫之らによって最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編集された。素朴で力強い『万葉集』の和歌と比べて、その繊細で技巧的な歌風は、古今調と呼ばれて長く和歌の模範とされた。『古今和歌集』以後、鎌倉時代初めの『新古今和歌集』にいたる8種の勅撰集を総称して という。

問(5) 空欄(オ)と空欄(カ)に該当する語句をそれぞれ記号順に記しなさい。

問(6) 下線部(d)に関連して、次のA・B・Cの中から六歌仙と呼ばれる歌人のうち女性の和歌を選んで、その記号と歌人(人名)を記しなさい。

- A 世中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし
- B 人はいさ心もしらずふるさは花ぞむかしの香ににほひける
- C 花の色はうつりにけりないたづらに我身世にふるながめせしまに

問(7) 空欄(キ)に該当する語句を記しなさい。

C

平清盛は、保元・平治の乱ののち、後白河上皇の信任を得て急速な昇進をとげ、1167(仁安2)年には太政大臣となり、娘徳子(建礼門院)を高倉天皇の中宮に入れて、その子の安徳天皇が即位すると外戚となった。また、一族も、そろって高位高官を占め、勢威は並ぶものがなくなった。^(e)しかし、急速な平氏の台頭は、しだいに他の貴族たちの反感を買い、1177(治承元)年、後白河上皇の近臣藤原成親・僧俊寛らが京都近郊の鹿ヶ谷で平氏打倒をはかり、失敗する事件が発生した(鹿ヶ谷の陰謀)。

平氏は、忠盛の時代から日宋貿易にも力を入れた。11世紀後半以降、日本と高麗・宋との間では商船の往来が活発となり、12世紀前半に宋が女真族の金に華北を占領されて江南に逃れて南宋となってからは、さらにさかんに通商が行われた。これに応じて、清盛も宋商人を積極的に招き、瀬戸内海航路の安全を確保するために摂津国の大輪田泊の修築や安芸国の の開削を行い、本格的に 日宋貿易を推進した。^(f)

問(8) 下線部(e)に関連して、『平家物語』には、「吾身の栄花を極るのみならず、一門共に繁昌して、嫡子 , 内大臣の左大将, 次男宗盛, 中納言の右大将, 三男知盛, 三位中将, 嫡孫 , 四位少将, 惣じて一門の公卿十六人, 殿上人卅余人, 諸国の受領, 衛府, 諸司, 都合六十余人なり。世には又人なくぞみえられける。」と書かれている。空欄(ク)に該当する人名(2字)を記しなさい。

問(9) 下線部(f)に関連して、日宋貿易における宋からの輸入品を次の語群から三つ選んで、その記号を記号順に記しなさい。

[語 群]

A 硫黄

B 香料

C 陶磁器

D 刀剣

E 漆器

F 薬品

問(10) 空欄(ケ)に該当する語句を記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)・(C)・(D)の各文を読み、各問題について、語群からもっとも適当と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

5代将軍足利義量が早世したのち、6代将軍となったのは、天台座主から還俗した義教であった。義教は、 足利持氏と関東管領上杉憲実との対立を機会に、憲実を支援するため関東に討伐軍を送り、1439年、持氏を討ち滅ぼした。さらに翌年、義教は、有力守護であった一色義貫・土岐持頼らを次々に謀殺するなど専制政治を押し進めたため、不安をおぼえた有力守護の赤松満祐は、1441年、義教を自宅に招いて殺害した。ほどなく赤松氏は、^(a)幕府から派遣された山名持豊らによって討伐されたが、幕府権力の衰退は明らかであった。

持氏の死後、 には、その子である成氏が就いたが、^(b)成氏も上杉氏と対立し、1454年に憲実の子で関東管領の上杉憲忠を謀殺したことが契機となって大乱が起こり、関東は、他の地域に先駆けて、戦国の世に突入することとなった。

京都では、将軍権力の弱体化により、応仁の乱がおこった。将軍家において、8代将軍義政が弟の義視を還俗させて後嗣と定めた翌年、義政の夫人である日野富子に義尚が生まれたことから、家督相続争いが生じ、^(c)幕府の実権掌握を争っていた2人の有力者が、それぞれ義視と義尚を支援したため、対立が激化し、1467(応仁元)年5月、全面的な戦闘状態に入った。

問(1) 空欄(ア)に入る最も適当な語句を選びなさい。選ぶべきものがなければ、Fにマークしなさい。

〔語 群〕

- | | |
|----------|--------|
| A 執権 | B 摂家将軍 |
| C 鎌倉府評定衆 | D 鎌倉公方 |
| E 政所別当 | |

問(2) 下線部(a)と下線部(b)の事件名の組み合わせとして正しいものはどれか、
選びなさい。正しいものがなければ、Fにマークしなさい。

- A 享徳の乱・結城合戦 B 永享の乱・嘉吉の乱
C 嘉吉の乱・享徳の乱 D 結城合戦・享徳の乱
E 上杉禅秀の乱・永享の乱

問(3) 下線部(c)の、義視と義尚をそれぞれ支援した2人の幕府実力者の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。

[語 群]

- A 赤松政則・大内政弘 B 畠山政長・斯波義敏
C 畠山持富・畠山持国 D 細川勝元・山名持豊
E 山名持豊・細川勝元 F 斯波義廉・畠山義就

(B)

室町時代には、農業や手工業の発達により、地方の定期市もその回数を増していき、月に3度から、応仁の乱後は6度開く市まで登場した。これらの市では、一定の商品を売る販売座席の指定がおこなわれ、商人たちは市場の監督権をもっていた当該土地の荘園領主や大名たちに市場税を納めて独占的販売権を保証された。また、都市では、次第に、常設の小売店が増え、京都三条・七条の米場や淀の塩・魚市など、特定の商品だけを扱う市場も生まれた。

行商人も増加し、個人で荷を振売するものや、琵琶湖岸の堅田商人のように船団を組んで活躍するものが出現したほか、女性の活躍も目立った。

手工業者と同様、商人の座も増加した。平安時代後期頃から、朝廷と結びついた商人には供御人、大寺社と結びついた商人には神人という称号が与えられ、彼らは朝廷や寺社に一定の品物や営業税を納めることによって、関銭の免除や市場などでの独占的販売権を認められた。

問(4) 上の文の説明として、誤っているものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 月に6度開く定期市は「六斎市」と呼ばれた。
- B 一定の商品を売る販売座席のことを「市座」と言った。
- C 常設の小売店では、「見世棚」を備える店が増えた。
- D 「連雀商人」とは、行商人のうちで、市場に根拠を持ちながら陸路で各地を行商するものである。
- E 京都の大原女は、主に花や野菜を売る行商人であった。
- F 京都の桂女は、鵜飼集団の女性で、鮎売りの行商人として早くから活躍していた。

問(5) 下線部(d)の「供御人」および下線部(e)の「神人」に関する説明として誤っているものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 「供御」とは、天皇に献身的に奉仕することである。
- B 保元元(1156)年の保元新制により、神人・供御人制が確立したとされている。
- C 油神人は、大山崎の離宮八幡宮を本拠地としていた。
- D 供御人の起源は古く、大宝令にも規定がみられるが、南北朝時代頃から盛んに活動するようになり、一般の座商と同様な組織をもった。
- E 京都北野神社には西京麴売神人がいた。
- F 供御人としては、近江粟津の魚供御人、宇治の菓子供御人などがいた。

(c)

江戸時代の百姓は、村請制のもとで年貢や諸役などの負担に耐えていたが、重い負担に耐え切れず、領主に対して、村をあげて直接行動を起こすこともしばしばであった。これを、百姓一揆と呼ぶ。その件数は、江戸時代を通じて、しだいに増加し、またその形態も変化していった。

17世紀初め頃までは、武士をまじえた武力蜂起や逃散など、中世の名残が見られるが、17世紀後半からは、村の代表者が領主に直訴する「代表越訴型一揆」が増えた。17世紀末になると、村を超えた広い地域の百姓が団結した大規模な「惣百姓一揆」も各地で見られるようになり、ときには一揆の範囲が藩領全域に及ぶこともあった。領主や特権商人による流通独占に反対し、在郷商人と百姓が、支配の別なく、郡や国の規模にまで範囲を広げて結集して訴願する「国訴」という運動も起こった。幕末・維新时期には、苦しい現実からの解放と新しい世の中の到来を願う意識が百姓一揆と結びついた、「世直し一揆」^(f)が数多くみられるようになる。

問(6) 江戸時代の百姓一揆に関する説明として正しいものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 一揆の代表者たちが、「義民」としてあがめられたことはない。
- B 直訴と越訴はまったく別のものである。
- C 上総の佐倉惣五郎を代表とした一揆は、代表越訴型の一揆として有名である。
- D 伊予吉田藩の武左衛門一揆は、惣百姓一揆の代表例である。
- E 江戸時代を通して約 5000 以上の一揆が知られている。
- F 円形になるよう放射状に署名された傘連判状が、一揆で用いられることはなかった。

問(7) 下線部(f)の「世直し一揆」として知られているものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|--------|--------|
| A 郡上宝暦騒動 | B 元文一揆 | C 信達騒動 |
| D 万石騒動 | E 生野の変 | F 嘉助騒動 |

(D)

老中松平定信による寛政の改革では、儒学の振興が積極的にはかられた。徳川家康に登用された林羅山の孫にあたる林鳳岡が綱吉によって大学頭に任ぜられ、家塾を新設の湯島聖堂の傍らに移したことから、林家が幕府の文教政策の中心を担うようになった。1790(寛政2)年、湯島聖堂の学問所で朱子学以外の^(g)学派の講義や研究をすることを禁じた寛政異学の禁が出された。のちに寛政の三博士と呼ばれた優れた儒者を儒官に登用し、また朱子学の奨励と人材発掘のため、学問吟味という試験制度も設けられた。

寛政の改革は、田沼意次時代末期の危機的状況を克服し、幕政を引き締め、幕府の財政を回復したが、厳しい統制や儉約の強制が民衆の反発を招き、加えて将軍家斉と対立したこともあって、1793(寛政5)年、定信は老中在職6年余りで退陣に追い込まれた。

問(8) 下線部(g)の「朱子学」に関する説明として誤っているものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 封建支配を合理化する学問として、諸藩においても積極的に採用された。
- B 格物致知・理気二元論を説き、身分秩序を重視した。
- C 陽明学もまた、朱子学と同じく、儒学の一派である。
- D 12世紀に南宋の朱熹が大成した儒学の一派である。
- E 近世日本の朱子学の祖は、林羅山である。
- F 鎌倉時代に伝来し、五山僧に普及していた。

問(9) 古学派は、孔子・孟子の古典に立ち帰ろうとする学派で、我が国で創始された儒学といえるが、次のうち、古学者でない者はだれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 伊藤仁斎 B 太宰春台 C 山鹿素行
- D 荻生徂徠 E 貝原益軒 F 伊藤東涯

問(10) 寛政の改革に関する説明として正しいものはどれか、選びなさい。

〔語 群〕

- A 上知令を出して、約50万石を幕府の直轄地とした。
- B 収入増加策として、上げ米を実施した。
- C 経済的に困窮した旗本・御家人を救済するため、棄捐令を発した。
- D 人材登用のため、足高の制を設けた。
- E 深刻な物価騰貴を抑えるため、株仲間の解散を命じた。
- F 年貢増徴策として、検見法を改め定免法を広く取り入れた。

〔Ⅲ〕 次のA・B・Cの各文章(一部変更をくわえている)を読んで、それぞれの設問に答えなさい。

A

朕^{ちん}即位^{はじめしゆ}ノ初^ごトシテ群臣^{しん}ヲ会^あシ五事^ごヲ以テ神明^{しん}ニ誓^{ちか}ヒ、国^{こく}是^ぜヲ定^{さだ}メ万民^{ばん}保^{たも}全^{ぜん}ノ道^{みち}ヲ求^{もと}ム。・・・朕^{せい}今^{いま}誓^{ちか}文^{ぶん}ノ意^いヲ拡^{くわ}充^{ちゆう}シ茲^こニ〔ア〕ヲ設^たケ以テ立法^{りつぽう}ノ源^{みなもと}ヲ広^{ひろ}メ、〔イ〕ヲ置^おキ以テ審判^{しんぱん}ノ権^{けん}ヲ鞏^{かた}クシ、又^{また}地方官^{ちほうくわん}ヲ召^ま集^{じふ}シ以テ民情^{みんじやう}ヲ通^{つう}シ公益^{こうい}ヲ図^ずリ、漸次^{ぜんじ}ニ国家^{こくが}立^た憲^{けん}ノ政体^{せいだい}ヲ立^たテ、汝^{なん}衆^{じゆう}庶^{しよ}ト俱^{とも}ニ其^{その}慶^{けい}ニ頼^たラント欲^ほス。汝^{ある}衆^{しゆう}庶^{しよ}或^{ある}ハ旧^{きう}ニ泥^ぬミ故^こニ慣^なルルコト莫^なク、又^{また}或^{ある}ハ進^まムニ輕^かク為^なスニ急^{いそ}ナルコト莫^なク、其^よレ能^よク朕^{ちん}カ旨^{むね}ヲ体^{たい}シテ翼^{よく}賛^{さん}スル所^{ところ}アレ。

『法令全書』

問(1) 1875(明治8)年1月、井上馨の周旋により、政府側から大久保利通、征韓論で下野し立志社を興し民権運動を始めた板垣退助、それに台湾出兵に反対して下野した木戸孝允らが集まって、「国家立憲ノ政体」の方針が決められた。この会議は何とよばれているか。

問(2) 1875(明治8)年4月14日に天皇により公布された上の文章は何とよばれているか。

問(3) 空欄(ア)にはいる語句を記しなさい。

問(4) 空欄(イ)にはいる語句を記しなさい。

B

第一の議事は会名変更の件であつた。友愛会といふ名称は元来英国のフレンドリー・ソサイチー(共済会)から取つたもので、英国今日の労働組合もその発達したものであるのだから、日本の労働組合も其の卵の時代は友愛会で善かつたのだけれど、今日の程度まで発達した以上、堂々とした明白な名称が欲しい。然し七年の歴史を有する友愛会といふ文字も棄てたくないといふ様な趣意で、そこに新たに と改称しようといふ提案で、多少の議論はあつたが、大多数で可決した。(略)

第二の議事は組織変更の件。之は従来の会長独裁制を改めて理事の合議制度にする事。及び支部の組織を漸次に地方別から職業別にする事の二個条で、両方とも全会一致で可決した。従来、友愛会が「労働者の自治団体」と称しながら、 君が自ら会長となつて一切の事務を独裁してゐた事の不都合は、我々の幾度か指摘しておいた所だが、今度の理事会制度で友愛会は初めて本統の自治団体になつたわけである。

堺利彦「友愛会大会傍聴の記」(『新社会』第6巻6号)

問(5) 空欄(ウ)に該当する語句を記しなさい。

問(6) 空欄(エ)には、友愛会を組織した人物名がはいる。氏名を記しなさい。

問(7) 空欄(ウ)は1921(大正10)年10月に再度名称を改めて、労使協調主義から階級闘争主義へと方向を転換していく。新しい名称を記しなさい。

C

十月十七日〔金〕晴

午後一時十分より三時四十五分迄、宮中西溜の間に於て重臣會議を開く。清浦〔奎吾〕・若槻〔礼次郎〕・林〔銑十郎〕・広田〔弘毅〕・阿部〔信行〕・米内〔光政〕各前首相、原〔嘉道〕枢密院議長參集す。清浦子の九十二才の高齡にて出席せられたるは一同感激するところであつた。

余より政変に至りたる経過を説明、それより各々質問、意見の開陳あり。若槻氏より宇垣大将を推薦したる外は林大将より皇族内閣云々の説を出されたるのみ。特別意見なく、余は此際何よりも必要なは陸海軍の一致を図ることと九月六日の御前會議の再検討を必要とするとの見地より、(オ) 陸相に大命降下を主張す。但し(オ) 陸相は現役にて陸相を兼ねしむることとす。反対論はなく、広田、阿部、原の諸氏賛成せらる。散会后、四時より四時十五分迄、拝謁、重臣會議の模様を詳細奏上す。

(オ) 陸相を御召あり、大命降下す。

『木戸幸一日記』

問(8) 下線部(a)の「経過」は、次のようなものである。1941(昭和16)年9月6日の御前會議において「帝国国策遂行要領」が決定され、「帝国ハ自存自衛ヲ全フスル為、対米、〔英、蘭〕戦争ヲ辞セザル決意ノ下ニ概ネ十月下旬ヲ目途トシテ戦争準備ヲ完整ス」の方針が決められた。日米交渉による妥結を主張する首相と交渉打ち切りと開戦を主張する陸軍大臣とが対立し、同年10月16日内閣が総辞職するに至った。この時の首相は誰か。氏名を記しなさい。

問(9) 空欄(オ)に該当する人物の氏名を記しなさい。

問(10) 日記の筆者である木戸幸一は、天皇を補佐する大臣であり、当時、後継首相の決定に主導的な役割をはたした。漢字3字で官職名を記しなさい。

〔IV〕 次の(A)および(B)の各ブロックの文中の空欄に、各ブロックの語群からもっとも適当と思われる語を選んで、その記号を解答欄(解答用紙裏面)にマークしなさい。

(A)

第2次世界大戦後、アメリカとソ連の関係が悪化した。

アメリカは西欧諸国との関係を強化したのに対し、ソ連は東欧諸国をその影響下において、それらの国々に社会主義政権を樹立させた。アメリカを中心とする自由主義陣営を西側陣営といい、ソ連を中心とする社会主義陣営を東側陣営というが、この両陣営の対立を東西対立という。

東西対立を具体的にみると、1947年にアメリカの大統領 は、アメリカの安全を確保するためにソ連を封じ込めるべきであると宣言し、さらに同年、アメリカの国务長官 は、西欧諸国のための経済復興計画 (・プラン)を発表した。

これに対し、東側陣営には1947年に という組織が結成された。これは、ソ連および欧州諸国の共産党との連携・情報交換のための組織である。そして、1949年には ・プランに対抗するための社会主義諸国の経済協力機構である が結成された。

また、ドイツは連合国軍によって分割統治されていたが、1949年に、ソ連によって占領されていた地域がドイツ民主共和国に、アメリカ・イギリスおよびフランスによって占領されていた地域がドイツ連邦共和国になり、2つの国家に分断された。前者は東側陣営に、後者は西側陣営に組み込まれることとなる。

さらに同年、西側陣営が北大西洋条約機構を結成したのに対し、東側陣営は1955年にワルシャワ条約機構を結成した。

東西対立はアジアにも大きな影響を及ぼした。

たとえば、中国では共産党が国民党との内戦に勝利し、1949年に中華人民共和国が成立した。1950年、同国はソ連と中ソ友好同盟相互援助条約を締結し、東側陣営に属することになった。これに対し、国民党は台湾に移り、同地

を支配地域として中華民国政府を存続させた。

朝鮮では日本の敗戦後、北側をソ連が、南側をアメリカがそれぞれ分割統治していたが、米ソ関係の悪化により朝鮮半島が統一国家として独立することは困難であった。そして、1948年には韓国と北朝鮮がそれぞれ建国されたのであるが、年に北朝鮮が韓国に侵攻して朝鮮戦争が勃発したのである。

[語 群]

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| A キッシンジャー | B コミンフォルム | C 1949 |
| D トルーマン | E 1951 | F 国際復興開発銀行 |
| G ダレス | H アイゼンハワー | I 1950 |
| J ローゼンベルグ | K マーシャル | L G A T T |
| M COMECON | N コミンテルン | O キーナン |

(B)

上記のような東西対立は、アメリカの日本の占領政策を大きく転換させることとなった。大まかにいうと、アメリカは、日本を自由主義陣営の強力な防壁とすべく、日本の経済復興と再軍備を図ったのである。

1948年、アメリカの陸軍長官 は、日本の経済的自立を促し共産主義に対する防壁とすべきであると演説し、これに次いで同国の陸軍次官 が来日し、GHQに対して日本の賠償軽減などを進言した。そして同年10月、アメリカの外交官ケナンが、行政権限の日本政府への大幅委譲、公職追放の緩和、民間企業の育成等を提言した。

1948年に 内閣が成立すると、同年12月にGHQは同内閣に対して経済安定九原則を実行するように命じた。これは、総予算の均衡、徴税強化、物価の統制などからなるが、徹底した引き締め政策であるという点にその特徴がある。これにより、インフレの抑制、円の価値の安定が企図され、もって日本の経済的な国際競争力を高めることにより、経済を復興させようとしたのである。これを実現させるべく、1949年にはアメリカのデトロイト銀行頭

取の [] が来日し、一連の施策を日本政府に指示したのである。

ちなみに、税制に関してみると、アメリカのコロンビア大学教授の [8] を団長とする税制使節団が1949年に来日し、税制改革の勧告を行った。その内容は、主として直接税・所得税中心主義、地方税の独立などである。これを受けて、所得税などの直接税を中心とする税制改革が断行された。わが国では、それ以来、直接税・所得税中心主義が維持されたが、 [9] 内閣において1989年4月から消費税が導入されることとなった。その税率は当初は [10] パーセントであったが、2017年現在8パーセントとなっている。

[語 群]

- | | | |
|---------|---------|--------|
| A 竹下 | B ドッジ | C 3 |
| D ロイヤル | E 第2次吉田 | F 海部 |
| G 2 | H ドレーパー | I シャウブ |
| J 5 | K 第3次吉田 | L 宇野 |
| M 第1次吉田 | N ニミッツ | O ハイエク |